

事業者向け

令和5年度 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		定員に対するスペースは適切だが、幅広い年齢層や特性を考えると、スペースは十分だと言えない。必要に応じてパーテーションを使ったり、療育内容を考え、環境調整を行い、安全性に配慮している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			利用人数に対して、常に必要な人員配置をしている。配置基準に加算の職員配置、活動内容によってはさらに必要時には職員を増員している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		事業所がエレベーターのない2階であるため、車いす等の対応は難しい状況。階段には手すりや転落防止の柵を設置している。デフロア内はフラットで、危険な場所がないか常に気を配っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日のミーティングにより支援の振り返りや情報共有を行い、問題点、解決策など話し合っている。また、話し合った結果はスタッフ全員が共通認識できるように情報共有し、支援の質向上に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者評価表と併せて、適宜保護者様のニーズアンケートを実施し事業所に対する要望や改善点などの把握に努め、業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部評価は行っていないが、社内による第三者評価を行ったり、適宜社内で相談し、業務改善につなげている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			オンライン研修など積極的に参加している。日々の振り返りにおいても、質の向上につながるように話し合っている。また、研修動画をスタッフ全員が視聴できる環境にしている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日頃のお子さまの様子や保護者様との面談、学校関係者からの情報、発達検査の結果などをしっかり把握し、総合的に分析した上で個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			支援を考えるうえで必要な情報収集ができるように、独自のアセスメントシートを使用するとともに、病院での発達検査をされている方にはその結果をお願いして、確認させていただいている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ミーティングで意見を出し合いながら、活動内容の療育目的や来所児童の発達段階を考慮し、個々のプログラムや集団のプログラムを立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童が楽しみながら、色々な経験や達成感を味わえるように活動プログラムを考えている。季節ごとのイベントを入れるなど、固定化しないよう努めている。児童が継続して来所できるよう日々のプログラムの見直しも検討している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			日によってスケジュールを調整し、療育目的をしっかりと意識し、個々の発達段階に応じた課題設定を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			毎日のミーティングでどの児童がどのような活動をするのか情報共有している。それぞれの特性や児童の状況・発達段階を考慮し、その子に合った個別活動や集団活動を考えている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			当日での活動の流れや療育内容を周知できるようにミーティングを行っている。送迎等でミーティングに参加できないときは、個別にミーティング内容を申し送りしている。

事業者向け

令和5年度 放課後等デイサービス自己評価表

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		送迎等で当日のスタッフ全員での振り返りは難しいが、気づきや注意点等、日々のミーティングで振り返り、スタッフ全員が把握できるように努めている。
	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録は、単なる活動記録にならないように気を付けている。支援記録を次のアセスメントやモニタリングに活かせるように意識し、記入を行っている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行うとともに、家庭や学校、デイでの様子で変化がみられ場合には随時情報把握のためアセスメント、見直しを実施している。
	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			4つのスキル(身体・生活・社会性・創造)を向上させるための活動に加えて、余暇活動として、色々なレクリエーションを考えている。個別のニーズを把握し、活動を組み合わせ合わせて支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者・管理者を中心に参画している。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			行事予定や、下校時刻の情報等は、HPから情報収集したり、保護者様からの情報提供を受けている。送迎時には、保護者様を介して情報を共有し、必要な連絡調整を行っている。また、学校送迎時に先生と情報共有を行うようにしている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在医療的ケアが必要な児童の利用がないが、必要に応じて体制を整えていく。また、各児童のかかりつけ医は把握している。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		相談支援相談員や保護者様からの情報をもとに情報共有を行っている。過去に作成された支援計画などがある場合は拝見させてもらったり、就学前の関係機関に可能であれば見学に行かせてもらうなど連携を図るよう努めている。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	相談支援員を通して情報提供を行ったり、事業所間では必要に応じて行うよう努めている。全員にできているわけではないため、積極的に情報提供をし、移行支援会議の出席を求められれば参加していく。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	訓練の見学や、支援方法についての専門的なアドバイスをもらっていたが、コロナウイルスにより他機関との連携が難しくなっている。機会があれば積極的に研修等の参加をしていきたい。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	コロナウイルスが5類に移行したが、他機関との交流までには至っていない。地域の公園や公共の施設へのお出かけで交流する場面は見られるが、行事としては取り入れていない。今後、交流の機会を増やしていきたい。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	協議会に属する「放課後等デイサービス連絡協議会」に加盟しており、例年集まり等に管理者が参加している。コロナウイルスにより集まるのが難しかったが、必要に応じて連絡を取り合っている。
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートでのやりとりや送迎時にご家庭の様子や事業所での様子を直接情報共有し、状況の把握、共通理解に努めている。また必要に応じてメールや電話でお話をさせて頂いている。	

事業者向け

令和5年度 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		事業所として保護者様に対する研修を開催はしていないが、研修資料の配布や、個別に保護者様の相談に応じている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っている。変更があれば、適宜説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者様の悩みを共感的に聞くこと、相談しやすい関係性作りを大切に、必要に応じて助言や家族支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会の必要性は十分理解しているが、開催には至っていない。今年度は保護者様が一緒に参加できる行事を開催したが、お仕事をされている保護者様も多く、参加率は低かった。内容なども含め、今後検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情などはないが、苦情や意見があった時には、スタッフ間で発生原因、改善策を共有し、迅速に対応するように努めていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報の発行は現在行っていないが、必要性を感じており今後実施を検討している。月間の行事予定表の配布は行っている。不定期ではあるが、活動の様子などをSNSを使って保護者様に対して情報発信を行っているが、保護者様に認知度が低いと、周知していく必要がある。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に関わる書類などは鍵がかかる場所に保管している。また、契約時に個人情報保護に関する取り決めの内容に同意をいただき、それに基づき、情報漏洩がないように十分注意し、周知を図っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			特性や理解度に合わせて、イラスト、写真、文章など伝え方を工夫している。成長に合わせて見直しも適宜行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	事業所が狭く、物理的にも困難なため、地域住民を招待する行事を行えていないが、児童たちへの理解のためにも地域住民との交流は必要だと思っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルを策定はしており、事業所内での周知に努めているが、保護者様への周知が不十分のため、いつでも閲覧できるように入り口にファイルを設置している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年間プログラムを策定し、それに沿って行っている。すべての児童が避難訓練に参加できるように月によって曜日を変えて避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			県・市主催の研修にも積極的に参加している。また、社内でマニュアルを作成し、委員会を実施している。その内容に基づいて、スタッフ研修を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			指針の整備、委員会の実施、スタッフ研修を実施している。身体拘束を行う際の原則及び事後の対応などについての理解と身体拘束についてのマニュアルを周知徹底するとともに、必要がある場合にはマニュアルに沿って適切な対応をしていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	アレルギーの有無について、保護者様からの情報で対応している。必要に応じて、医師の指示書に基づいて対応していく。

事業者向け

令和5年度 放課後等デイサービス自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		事例集は作成していないが、組織全体として共有している。また、事業所内では情報共有ノートやミーティングで内容を確認し、スタッフ全員でその情報を共有し、事故再発防止に努めている。